

今月の法話

一、「彼岸は人生を変える縁起の源」二、「修二会と共に春がくる」  
三、「舍利禮文について」

一、彼岸は人生を変える縁起の源

毎年この時期になると彼岸会の話を読みますが、また、などと思わず再度学んでください。一言に彼岸とは「悟り」(パラミタ)の意味です。しかし私達には「悟る」ことは難しいゆえ、仏教の教えをもってそれに近づく修行をするのです。

「悟り」とは全てを超越した究極の姿で「仏」となること(成仏)ですが、この現世では、様々なしがらみや因縁によって迷い苦しむ事が多く、心の安定が難しい世界です。そのような世界の中ではたして悟ることが出来るのかと感じられると思いますが、「悟り」を得るにはお釈迦様の説いた「中道」ちゅうどうの考え方が大切です。

「中道」を例えると、四弦の琵琶という楽器があり、一弦一弦異なる強さでチューニングし、張りすぎても緩みすぎても美しい音色は出ません。まさにそれぞれに適した調律によって美しい音楽を奏でることが出来ます。これが中道の考え方で、その場に応じた優れた選択をすることであり、**㊶**と**㊷**という意見があつてその真ん中を示すような単純なものではありません。

何事に対しても両極端の立場や考え方、言動を離れ、偏らずに物事に関わる事が中道の教えです。

さて、話は彼岸に戻りますが、彼岸会とは私達とご先祖様達の御縁を見つめなおし、原点に戻る為でもあります。自分の今があるのはご先祖様のおかげであり、その縁に感謝することで因縁の浄化と再生、そして縁起を頂くことができるのです。すなわち先祖への感謝の心は孝行となり、功德を積むことよって良縁を引き寄せることになるのです。縁が広がると様々な関わり合いの中で良き道に導かれ助けられ、自然と運氣が上昇していきます。徳を重ねる無二の方法と言っても過言ではありません。

先祖供養において「廻向」という言葉を使いますが、廻向とはご先祖が浄土へ向かうことができるのと同時に、お経を唱え施した方にも浄土への道が開くことです。供養とは先祖だけではなく、お互いの成仏への道が示されるのです。

生と死、滅と再生は常に同時に存在する世界に私達は生かされているのです。「中道」を求め、彼岸の心をもつて精進してゆきましょう。

二、修二会と共に春がくる

春の訪れを告げる修二会。今年で千二百七十二回目を迎えたこの修法はまさに奇跡と言っても過言ではありません。それはひとえに十一面観音様が私達をお見守りいただいている証だと思えます。

十一面観音様は私達が信仰する不空羅索観音様よりメジャーな仏様ですが、同じ観音縁起として東大寺の一仏であり、毘盧遮那仏(大仏)の眷属です。

この修二会に当山の天仙住職は練行衆として四度目の参籠中ですが、修二会が行じられている二月堂は天平勝宝四年(七百五十二年)に創建されました。同年二月一日から十四日間修法が行われたことが二月堂と修二会の名前に由来しています。現在では三月一日から十四日間本行が行われています。

お水取りの名称は二月堂の十一面観音様に若狭井(井戸)から汲み上げたお香水を供えたことに由来し、その行事は十二日の深夜に行われます。

さて修二会の正式名称は「十一面悔過法要」といい、われわれが日常犯している様々な過ちを二月堂本尊である十一観音菩薩の宝前で懺悔する法要です。

京都にある笠置寺かきざきでらというお寺の山内に笠置の龍穴といわれる胎藏界石、金剛界石という大きな岩が対になっている場所があり、その間に千手窟とそつてんがあります。良弁上人の高弟である実忠和尚がこの千手窟にて修行中、弥勒菩薩の住する兜率天とそつてんに至り、天衆の行ずる修法を伝授され、これを人間界に移したことが悔過法要のはじまりといわれています。

そして実忠和尚は笠置寺山内に正月堂を建立し、伝授された修法を行じた後に東大寺二月堂を建立されて同じく修法を行い、これが十一面悔過法要と呼ばれ、天平時代より一度も途切れることなく引き継がれてきました。東大寺の長い歴史にあって、二度の大伽藍の大半が失われたときですら途切れることなく、ゆえに不退の行法と呼ばれ、今日に至っています。

※口伝 十一面観音と聖天様

### 修二会の松明 たいまつ

お松明は本来、二月堂に上堂する練行衆の道明かりとして灯されるので、十二日目の籠松明が有名ですが、修二会期間中、三月一日から十四日まで毎日上堂の際に練行衆と共に二月堂にあげられます。

籠松明は長さ6〜7メートルほどの根付きの竹の先端に、杉の葉やへぎ、杉の薄板で籠目状に仕上げ、直径1メートルほどの大きさの松明になります。通常の松明で約40kg。籠松明は50kg以上だそうです。

三重県の名張市に松明調達をされる松明講があり、山から用材の伐採をして東大寺に届けた後、童子とよばれる修二会の補佐をされる方達で松明を作ります。修二会は多くの方の協力ご支援があつて成り立っています。

この度、松明を当山で奉納し、満行の後、東大寺より松明を迎えることとなりました。火災などの災難除けの御利益があるといわれます。三月中旬以降には境内に飾る予定ですので、是非ご覧ください。

### 三、舍利禮文について 普賢光明寺勤行要集 四十八頁

一心頂礼 万徳円満 釈迦如来

ありとあらゆる徳を具えたお釈迦様を一心に礼拝いたします

真身舍利 本地法身 法界塔婆

本物の舍利、真理、真理の象徴である塔婆

我等礼敬 為我現身 入我我入

それらを敬い礼すれば、真理は我らの前に現れ入我我入となる

佛加持故 我証菩提 以佛神力

仏の神通力によつて私も悟りへと導かれる

利益衆生 發菩提心 修菩薩行

そしてその力をもつて衆生に利益し、悟りへの憧れを抱かせ、行に励ませる

同入円寂 平等大智 今將頂礼

そして悟りへといたるこの大いなる知恵に今まさに頂礼いたします

四月は年度の初めであり、なにかと物事の初めが重なる月であります。仏教においては仏生会というお釈迦様の誕生をお祝いする行事が八日に行われます。当山でも仏生会は厳修されますが、その中で読まれるお経がこの舍利禮文です。

当山の本尊は不空羅索観音様ですが、お釈迦様はこの世に仏の教えをもたらしただきった偉大なお方です。お釈迦様がいらっしゃったからこそ、今ここで縁が結ばれているのです。お釈迦様が私たちのいるこの世界に生誕されたご縁に感謝し、礼を尽くす。それが仏生会です。合掌

## 南無日光妙法蓮華經

\*三月のラッキーカーラー、暗剣殺、五黄殺(三月七日〜四月五日) 一年通してのラッキーカーラーは桜色です。

\*暗剣殺、五黄殺とは凶方位の事で移転増築や旅行など控えた方が良い方位となります。

三月のラッキーカーラー ピンク 白 金 暗剣殺 西 五黄殺 東

【お知らせ】

① 四月の勉強会の日程 普賢光明寺・四月一日(土) 二日(日) 四日(火) 午後一時より。

横須賀支部・四月十六日(日) ホテルハーバー 小田原別院・四月二十三日(日) いずれも午後二時より

② 仏生会・四月八日(土) 午前十一時より厳修いたします。釈迦誕生の祝いは縁起の根本であり、生命力が授かります。是非ご出席ください。

③ 仏像彫刻教室・四月三十日(日) 正午より

④ 令和五年度の年会費と会員証の更新は四月となります。よろしくお願いたします。(受付は三月より)

⑤ 智慧と魔除けの霊力を秘めた桃の木から作り祈禱する「ぼけ封じ守り」をご用意しております。郵送も可能ですのでご希望の方はご一報ください。御守りは期間限定で数にも限りがございます。(一休五百円) 合掌